

2021年11月7日 午前礼拝 説教:大木英雄牧師
「異邦人伝導の始まり」

使徒 11:1~10

1. さて、使徒たちやユダヤにいる兄弟たちは、異邦人たちも神のみことばを受け入れた、ということを目にした。
2. そこで、ペテロがエルサレムに上ったとき、割礼を受けた者たちは、彼を非難して、
3. 「あなたは割礼のない人々のところに行って、彼らと一緒にご飯を食した。」と言った。
4. そこでペテロは口を開いて、事の次第を順序正しく説明して言った。
5. 「私がヨッパの町で祈っていると、うっとりとして夢ごちになり、幻を見ました。
四隅をつり下げられた大きな敷布のような入れ物が天から降りて来て、私のところに届いたのです。
6. その中をよく見ると、地の四つ足の獣、野獣、はうもの、空の鳥などが見えました。
7. そして、『ペテロ。さあ、ほふって食べなさい。』という声を聞きました。
8. しかし私は、『主よ。それはできません。私はまだ一度も、きよくない物や汚れた物を食べたことはありません。』と言いました。
9. すると、もう一度天から声がして、『神がきよめた物を、きよくないと言ってはならない。』というお答えがありました。
10. こんなことが三回あって後、全部の物がまた天へ引き上げられました。

(A) 割礼を受けたものからにペテロへの非難

使徒 11:1, さて、使徒たちやユダヤにいる兄弟たちは、異邦人たちも神のみことばを受け入れた、ということを目にした。

使徒 11:2, そこで、ペテロがエルサレムに上ったとき、割礼を受けた者たちは、彼を非難して、

使徒 11:3, 「あなたは割礼のない人々のところに行って、彼らと一緒にご飯を食した。」と言った。

割礼を受けた人たちは割礼を受けていない人たちは汚れていると信じていたので、割礼を受けていない人達と一緒に食事をするなんて、とんでもない事だとペテロを非難したので

(B) ペテロの弁明

使徒 11:4, そこでペテロは口を開いて、事の次第を順序正しく説明して言った。

使徒 11:5, 「私がヨッパの町で祈っていると、うっとりとして夢ごちになり、幻を見ました。
四隅をつり下げられた大きな敷布のような入れ物が天から降りて来て、私のところに届いたのです。

使徒 11:6, その中をよく見ると、地の四つ足の獣、野獣、はうもの、空の鳥などが見えました。

使徒 11:7, そして、『ペテロ。さあ、ほふって食べなさい。』という声を聞きました。

使徒 11:8, しかし私は、『主よ。それはできません。私はまだ一度も、きよくない物や汚れた物を食べたことはありません。』と言いました。

使徒 11:9, すると、もう一度天から声がして、『神がきよめた物を、きよくないと言ってはならない。』というお答えがありました。

使徒 11:10, こんなことが三回あって後、全部の物がまた天へ引き上げられました。

使徒 11:11, すると、どうでしょう。ちょうどそのとき、カイザリヤから私のところへ遣わされた三人の人が、私たちのいた家の前に来ていました。

使徒 11:12, そして御霊は私に、ためらわずにその人たちといっしょに行くように、と言われました。そこで、この六人の兄弟たちも私に同行して、私たちはその人の家にはいって行きました。

使徒 11:13, その人が私たちに告げたところによると、彼は御使いを見ましたが、御使いは彼の家の中に立って、『ヨッパに使いをやって、ペテロと呼ばれるシモンを招きなさい。

使徒 11:14, その人があなたとあなたの家にいるすべての人を救うことばを話してください。』と言ったということです。

使徒 11:15, そこで私が話し始めていると、聖霊が、あの最初のとき私たちにお下りになったと同じように、彼らの上にもお下りになったのです。

使徒 2:4, すると、みな聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話しました。

これは聖霊なる神様が目に見える形で下られたという「しるし」です。これが大切なのです。これは目に見えるものですから、誰でも信じる事が出来ます。私も和歌山の姉にトラクトを送っています。小学生でも読めばわかるトラクトです。それでも姉さんは読でくれません。

私の母が亡くなったとき、お寺でお葬式を上げました。私が母の思い出を語りました。母は近所のおばあさんたちと交わるのが大好きで、コーヒーにミルクを入れて甘いのを食べて皆でおしゃべりとするのが大好きでした。しかしお友達が一人ずつ亡くなり、誰もいなくなりました。

母は畑仕事が好きでしたが、2月は寒いので、「畑に行くな」ときつく言われていましたが、一人でいるのも淋しいので、畑に行って好きな畑仕事をしている時に亡くなりました。私は、母が畑で好きな仕事をしながら亡くなったので、母は幸せだったと思います。母はイエス様を信じてくれていたので、

伝道者の書 3:11, 神のなさることは、すべて時にかなって美しい。神はまた、人の心に永遠への思いを与えられた。しかし、人は、神が行なわれるみわざを、初めから終わりまで見きわめることができない。

と聖書の言葉を読みました。後から姉に「お寺さんで聖書の言葉を読むなんて」としかられました。聖書は全世界で一番信頼されている文献です。それを拒否されてしまうと姉と私の共通点が無くなるのです。

役員の方は私の書いたトラクトを兄弟に送って、「感想を書いてください」と頼んだらいろいろ面白い感想を書いてくれました。ビック・バーンの話も出てきました。よく勉強されているなと感心しました。しかし花火でも誰かが作り点火しなければ、花火は上がりません。

それと同じようにビック・バーンも誰かが作り誰かが点火しないと、爆発しません。偶然にあのようなことが起こるはずがありません。ですから反応して下さると、いくらでも説明が出来ます。進化論もそうです。「進化論の致命的な誤り」というトラクトを作りました。興味のある方には差し上げます。

しかしペテロの説明のように割礼を受けた人たちも

使徒 2:4, **すると、みなが聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話しだした。**

ペンテコステを目撃しているのです。異邦人にも同じ聖霊が下ったと言えれば共通の理解になるのです。私と姉とでは共通の理解がないのです。私たちクリスチャンには聖書が神様の言葉だという共通の理解があります。私と姉とでは共通の理解がないのです。

ルカ 1:37, 神にとって不可能なことは一つもありません。

I ヨハネ 4:10, 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。

英語の聖書では

This is love; Not that we loved God, but that he loved us, and his son as an atoning sacrifice for our sins,

神の御子が私たちの罪のために罪を償う犠牲となられた。私たちの罪が赦されるために神の御子が犠牲となられた。**これが神様の愛です。これはクリスチャンが共通に信じていることです。**家内が言うには、「あなたが和歌山へ行って命を犠牲にすれば、和歌山の人は神様の愛を理解するのではないの。」本当にそうかもしれません。

使徒 11:16, **私はそのとき、主が、『ハネは水でバプテスマを受けたが、あなたがたは、聖霊によってバプテスマを受けられる。』と言われたみことばを思い起こしました。**

使徒 11:17, **こういうわけですから、私たちが主イエス・キリストを信じたとき、神が私たちに下さったのと同じ賜物を、彼らにもお授けになったのなら、どうして私などが神のなさることを妨げることができましょう。」**

使徒 11:18, **人々はこれを聞いて沈黙し、「それでは、神は、いのちに至る悔い改めを異邦人にもお与えになったのだ。」と言って、神をほめたたえた。**

使徒 11:19, **さて、ステパノのことから起こった迫害によって散らされた人々は、フェニキヤ、キプロス、アンテオケまでも進んで行ったが、ユダヤ人以外の者にはだれにも、みことばを語らなかつた。**

フェニキヤはガリラヤ湖から西へ行き地中海沿岸地方
アンテオケはイスラエルのトルコに近い街

使徒 11:20, ところが、その中にキプロス人とクレネ人が幾人かいて、アンテオケに来てからはギリシヤ人にも語りかけ、主イエスのことを宣べ伝えた。

クレネはエジプトにある町。ギリシヤ人は異邦人。キプロス人とクレネ人はペンテコステの時に救われた異邦人だと思われます。

使徒 11:21, そして、主の御手が彼らとともにあったので、大ぜいの人が信じて主に立ち返った。

「主の御手が彼らとともにあった」主は力をもって彼らと臨在された。

マタイ 28:20, また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

Iヨハネ 1:9, もし、私たちが自分の罪を言い表わすなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。

ヨハネ 7:37, さて、祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立って、大声で言われた。「だれでも渇いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい。

詩編 37:5, あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる。

【説教:大木英雄牧師】